

馬瀬建設

実証。プラント設置

砕石採取から排出の

脱水ケーキを改良土に

土木工事等で実績を重ねる馬瀬建設（岐阜県下呂市、森本繁司社長、☎0576・47

・2231）は、自社の砕石採取場で、砂利採取に伴って発生する脱水ケーキ処理の実証プラントを設置して、7月13日に見学会を開催した。

実証プラントは、（一社）泥土リサイクル協会（愛知県稲沢市、☎

0587・23・27

13）が推奨する連続式泥土混合処理技術を採用したもの。改良固

化材には、アグロジャパン製のハーデンを使用した。主成分の生石灰の吸水・発熱反応により改良を進める。また、特殊配合により、一般

的な石灰系改良材以上の

の固化性能を持ち、固

化しにくい土にも効果を発揮する。砂利を採取するとき

プラント投入口



実証プラント



同社の砕石採取場で発生する脱水ケーキを短期間で再生利用できる

改良土にすることが課題として横たわっていた。川砂利採取後の

脱水ケーキは、含水比が高く、発生土として使うことができない。

固化材を使った泥土処理装置に入れることで、再泥化することなく品質を担保した土質材料になる。

今回設置したプラントは、セパレートタイプで処理現場ごとに移動することができる。混練ミキサーや泥土供給装置、油圧ユニット、高分子凝集剤供給装置などを現場に合わせた配置が可能。同装置は1時間当たり最大40立方メートルの処理ができる。